

市政に対する市民からの意見等のまとめ

田沼会場

1. 移住・定住の促進について

- ・地域の移住定住が問題になっているが、市としては工業団地を造成して就業人口を増やそうと努力しているのはわかる。しかし、その地域の従業員は市外から来ている方が多いと思う。その方をいかに地域の中にとどめる手段をとるのが大事。
- ・佐野は、割合東京に近く高速道路網も整備されているし、自然も豊かですし、地域的にも条件的にもいいかなという気もする。ただ、働くところが少ないから若い人にとって移住定住は難しい気がする。

2. 田沼地区の公共交通について

- ・行政センターでの乗り換えが不便。基幹線と飛駒線との接続が悪い。
- ・説明会までに秋山地区の課題を把握していただき、どう対応したらその課題が解決するか、というところを示していただきたい。
- ・バス利用は、日中は高齢者中心、新合地区は診療所がなくなり、交通の便が悪くなり、免許証返納、買い物難民が出てくる。そこを併せて考えるべき。また、行政が社会福祉協議会などとタイアップして総合的な交通手段を考えるべきではないか。

3. 田沼地区の農林業・観光資源の活用について

- ・農地法関係の農振農用地という点で、農用地が今、荒れ地になっている。基盤整備を行ったところは農地でいいが、抜けるものは抜いていただき、規制を外して色々利用する。移住してくる方は、自給自足ができる農地を少しだけ持ち、自分で野菜を作りたいと思っている。しかし、今の農地法では規制があって難しい。少しの面積でも、所有または借りるなど自給自足ができるよう規制緩和すると良い。

4. その他

- ・農林業と空き家について、今、空き家が急速に増えているが、住宅そのものでなく、周りの樹木などが非常に弊害になっている状況が多く発生している。周りの耕作地が農地として使用できなくなることが多々発生しているので、伐採するなど、その点についても考えて空き家対策をしてほしい。
- ・林政について、伐採した後、そこに植林することを義務化しないと植林する人がいないと聞いた。しかし、現実には植えたくても植えられない。苗木代や十年間下草を刈ったりと経費が掛かる。国から補助金をもらわないととても植えられない。そういう働きかけをお願いしたい。

葛生会場

1. 移住・定住の促進について

- ・人口減少率は、佐野市内でいうと葛生地区の人口減少率が一番高い。また、葛生地区には人が集まって来ない状況である。小学校が閉校になる予定ですが学校閉校後の学校再利用が行政から示されてこない。説明会などでも職員に聞いても担当が違うからとのことで細かい説明がない。
- ・佐野市民病院には小児科がない。この様な状況では益々中山間地域に住む人が減ってきます。市民（人間）を大切にしてほしい。栃木市は、東京に通う人に対して補助金がでている。市役所の職員、議員の人たちも、少しでも地域の人たちの役に立つにはどうしたら良いか考えてほしい。

2. 葛生地区の公共交通について

- ・中山間地域は高齢者の方が多くいる。病院に通院ができなくなったり、買い物もできなくなったりしてしまう人が増えている。公共交通の担当者も、現状を把握していただきたい。また、公共交通のことをもっと詳しく説明をしてほしい。

3. 葛生地区におけるコンパクトシティ構想について

- ・葛生地区を見ると行政センターができ行政主導の核はそろってきた。（病院、地場の商店、銀行、その他行政機関）葛生の地域核としての形ができつつある。
- ・別なところで、外からの交流人口を呼び込むために民の力で新しい考えで今後行って行くことも大切だと思う。

4. その他

- ・行政、議員の方が市民の皆さんに何ができるか提案をしていただき、佐野市を今以上に良くしていただきたいと思う。
- ・中山間地域は鳥獣被害でイノシシ、サルの被害がある。また、ヤマビルはいろいろな地区で発生している。早急な対応、対策をお願いしたい。

佐野会場

1. 移住・定住の促進について

- ・佐野市に住んで良かったといえる街づくりをし、人口増につながるきっかけづくりなど新たな発想に取り組み、市と住民が一体となって情報を共有することを期待する。
- ・人口減少を受け入れ、佐野市の規模に見合った政策が必要。若者が定住できる住みやすく楽しい生活感あふれるまちづくりを希望する。人口減少を強調するばかりでなく、安全安心なまちづくりが必要。
- ・佐野市は、交通アクセスの良い点を活かした企業誘致などへの有効な条件がそろってきていると思うが、今後も定住する方が増えるよう努力してほしい。

2. 佐野地区の公共交通について

- ・奈良渕地区はコンビニが一軒しかない。スーパーが近くになく歩くしかないし、バス停留所が遠い。高齢者も車が手放せない。路線の検討を希望する。
- ・赤字を強調しているようだが、他の自治体では無料で運行している例もあり、高齢者福祉タクシー券も病院関係だけでなく、買い物など幅広く拡大してほしい。
- ・赤字であるなら公共交通は無料化を検討したほうが利用者拡大、移住にも繋がると思う。

3. 佐野地区の空き家対策について

- ・危険な物件が解体されてきている。今後も積極的な対策を期待する。
- ・補助金を出すだけでなく、強制的に危険な空き家の解体を行政で行うべきではないか。
- ・空き家や閉校となった学校を改修し、低料金で市民に貸し出すなどして新たなまちづくりへの積極的な活用を期待する。

4. その他

- ・市役所に国や県から出向者が来ている。雨水などの速やかな排水や、河川の堆積物についての対策、防災観点も込めて堆積土砂の有効利用など出向者に方向性を出していただき、国や県の関係部署に伝えてもらいたい。
- ・結婚するのが難しい状況にある。結婚する意欲もなくなっている。結婚相談支援の充実を希望する。
- ・東京から流山に人口が流出している。その理由は子育て支援が充実しているから。佐野市においても駅に保育園を併設するなど、子育てしやすい住みやすい環境づくりに努めてほしい。